

# オンコロジーセンター

## 業務内容

オンコロジーセンターはがん患者さんが治療のために遠くの病院へ通院することなく自宅の近くで安心してがん治療が受けられるよう、がんに対する集学的治療から社会的・心理的サポートまで全て行うことができるがん治療センターとして2008年7月にオープンいたしました。2010年9月新病院に移転の際、2階に腫瘍内科、血液内科、緩和ケア外来の各外来と化学療法室が一体となったオンコロジーセンターが開設されました。

2021年4月先端医療センターの開設とともに先端医療センター棟（D棟）3階に規模を拡大し再移転いたしました。再移転に伴い「がん看護外来」「薬剤師外来」「サイコオンコロジー（腫瘍心理）外来」「リンパ浮腫外来」「がん支援センター」の設置・充実に専任スタッフががん治療や緩和ケアだけではなく、経済的問題を含めたがん治療に関わる様々な問題解決のお手伝いができるような体制を整えています。

化学療法室では、現在1ヶ月で約700件治療を行っています。疾患としては悪性リンパ腫が最も多く、そのほか大腸癌、多発性骨髄腫、乳癌、膵癌、肺癌などの疾患が多くなっています。登録レジメンは徳洲会オンコロジーセンターにて決められたレジメンに則り整備していますが、定義されていない疾患や緩和的な化学療法（3次治療以降など）もあり一部は院内のCancer Boardで検討の上、院内レジメンとして登録して治療しております。全てのレジメンは、電子カルテ上に登録されており、体表面積や体重より自動的に投与量が設定され、支持療法もすべてレジメンにくみ込まれ処方されます。これにより投与量・スケジュール・順序の間違いが限りなく少なくなり、医師毎の投与内容の差異もなくなったため、すべての患者様に安心して標準治療を受けていただくことができるようになりました。

抗がん剤はセンター内の調剤室で薬剤師によりミキシングが行われ看護師により順次投与されます。

副作用の把握・予防・対応の指導は医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士が連携をとり、抗がん剤投与後帰宅され自宅で困らないよう支援を行っております。

## 業務実績

腫瘍内科、腫瘍外科、血液内科、緩和ケア外来、がんゲノム外来、サイコオンコロジー（腫瘍心理）外来、がん看護外来、リンパ浮腫外来および、30床の化学療法室を持ち、月曜日から土曜日まで稼働しています。

対象疾患は小児がんを除いたすべての癌腫となっており、消化器癌（食道癌・胃癌・大腸癌・膵臓癌・胆道癌）、肺癌（非小細胞肺癌・小細胞肺癌）、乳癌、婦人科癌（卵巣癌・腹膜癌・子宮頸癌・子宮体癌）、泌尿器癌（膀胱癌・前立腺癌）、血液腫瘍（悪性リンパ腫・多発性骨髄腫）、軟部肉腫、原発不明癌など外来化学療法を行っています。現在、院内には約600のレジメンが登録されております。

## その他の活動

1. Open Oncology School, 「乳がんの薬物療法1 ～ 補助療法編～」(外科：下山ライ医師), 2021.4.20
2. Open Oncology School, 「乳がんの薬物療法2 ～ 進行再発編～」(外科：下山ライ医師), 2021.5.18
3. Open Oncology School, 「ASCO2021の話題 ～がん治療の最新情報～」(外科：下山ライ医師), 2021.6.15
4. がん症例検討会と医療連携についての情報交換会, 「当院における頭頸部がん治療 ～当院で始まった頭頸部外科・これからの新しい放射線治療(BNCT)～」(頭頸部外科：日高竜太医師), 「BNCTについて」(放射線腫瘍科物理士：後藤伸一), 2021.7.20
5. Open Oncology School, 「ASCO2021後編 乳がん肺がん」(外科：下山ライ医師) 2021.8.17
6. 2021年度第1回 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 集合研修, 「PET/CT検査にま

# オンコロジーセンター

---

つわるエトセトラ」(先進医療センター核医学診療： 川本雅美医師),2021.9.11

7.Open Oncology School,2021.10.19

8.Open Oncology School,「地域連携で支える外来化学療法 ～情報提供用紙を用いた取り組み～」(薬剤部薬剤師：橋本貴広),2021.11.16

9.がんサロンクリスマス講演会,「抗がん剤治療どこまで頑張りますか?～副作用と生活の質バランス～」(外科：下山ライ医師),「お家でできるリハビリ～できる範囲で一緒にからだを動かしてみましよう～」(リハビリテーション科理学療法士：中出裕一),2021.12.18

10.がん症例検討会と医療連携についての情報交換会,「がん治療における周術期等口腔機能管理」(歯科・口腔外科：飯田昌樹医師),2021.1.18

11.2021 年度第 2 回 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 集合研修,2022.2.12

12.がん性疼痛講習会,2022.3.29

## 展望/抱負

2022 年度からは臨床腫瘍科外来として常勤医 2 名、非常勤医 2 名による外来診療を行います。また、2022 年 3 月 1 日付でがんゲノム医療連携病院に指定されました。これに伴い「がんゲノム外来」を開設し、遺伝子パネル検査を開始する予定です。さらに、神経内分泌腫瘍に対する放射線同位元素内用療法が開始されます。

がん治療は多様化され、遺伝子のタイプから治療の選択をする事も可能になりつつあり、オーダーメイド医療といわれるようになりました。治療を受ける患者様も独居の方、高齢者のみの世帯や治療しながら社会生活を送る人など多種多様な社会的背景があります。そのため、治療の選択、治療・副作用・生命に関わる様々な不安も人それぞれ違います。

私たちは、患者様の意思決定を尊重し患者様に寄り添い、一人ひとりにあった治療選択を行い安心・安全な医療と患者様にとって優しい医療の提供を行